

事業番号	8 04 26	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜改良推進指導事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S61 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家畜の遺伝的な能力を向上させ、生産性の高い畜産物の生産を進める。</li> <li>○家畜人工授精師の育成を通じて県内の授精体制を整備し、雌牛への適期授精や受胎率の改善により生産性を向上させる。</li> <li>○種畜の検査や、家畜共進会への積極的な参加により家畜の生産能力および技術力向上を進める。</li> <li>○牛の受精卵移植技術を活用し、大家畜経営の所得を確保する。</li> </ul>
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種畜検査は、家畜改良増殖法の規定により家畜改良センターから委託されている。</li> <li>○家畜改良増殖法に基づき免許証の交付を受けた家畜人工授精師により、人工授精と受精卵移植が行われている。</li> <li>○養蜂振興法に基づき転飼調整委員会を開催し飼育群数の調整を行っている。</li> <li>○酪農経営において経費が増大する中では、所得確保の手段としての受精卵移植技術の活用がより重要な取組となっている。</li> </ul>

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) <b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 種畜検査は、家畜改良増殖法に基づき県が家畜改良センターから委託を受けて実施しており、また、養蜂振興推進事業においては、養蜂振興法に基づき広域的な飼育群数の調整が必要であることから県の関与が必要 ・家畜改良増殖法 ・養蜂振興法
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種畜検査 受検希望頭数に対して100%</li> <li>○家畜人工授精師養成講習会 開催回数1回</li> <li>○養蜂振興推進事業 転飼の申請に対する実施率100%</li> <li>○受精卵移植利用拡大支援 受精卵移植の取り組み農家数 122戸</li> </ul>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		種畜検査	直接	・家畜改良増殖法に基づく種雄畜の検査	334	234	400
	家畜人工授精師養成講習会	直接	・家畜改良増殖法に基づく家畜人工授精師の新規養成	1,398	1,158	1,766	
	養蜂振興推進事業	直接	・養蜂振興法に基づくみつ源の植生状況調査と転飼調整委員会の開催による飼育群数の調整	175	174	195	
	受精卵移植利用拡大支援	直接	・牛受精卵移植利用拡大に向けた関連技術の実践提供と民間技術者への技術支援	741	0		
	家畜共進会開催支援事業	負担金補助金	・第14回全日本ホルスタイン共進会への参加支援し、県内乳用牛の改良の推進 負担先(日本ホルスタイン登録協会 交付先(全日本ホルスタイン共進会長野県協賛会)	0	0	1,977	
	合計			2,648	1,566	4,338	

事業コスト	区分(単位:千円)						成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標		
		当初予算	7,965	6,585	2,648	4,338			目標	成果	達成状況			
		補正予算			-294				受検希望頭数に対して100%	受検希望頭数に対して100%	100%		達成	受検希望頭数に対して100%
		合計(A)	7,965	6,291	2,648	4,338			開催回数1回	開催回数1回	1回		達成	開催回数2回
	Aの財源	一般財源	1,491	111	111	2,088	養蜂の転飼に係る飼育群数の調整	申請に対する実施率100%	申請に対する実施率100%	100%	達成	申請に対する実施率100%		
		県債					受精卵移植の取り組み農家数	-	122戸	-	-	-		
		国庫支出金					家畜共進会開催支援事業	-	-	-	-	9頭出品		
		その他(諸収入等)	6,474	6,180	2,537	2,250								
	決算額(B)	6,616	6,073	1,566										
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20									
概算事業費(B(A)+C)	1,652	1,652	1,652	1,652										
	8,268	7,725	3,218	5,990										

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種畜検査:法に基づき受検希望家畜62頭を全て検査し、目標どおり達成できた。</li> <li>・家畜人工授精師養成講習会:参加者21名の講習会を1回実施し、目標どおり達成できた。</li> <li>・養蜂振興事業:蜂群の適正配置のために調整会議にて調整を図り、目標どおり達成できた。</li> <li>・受精卵移植の取組:制度改正により、受精卵移植は民間移植師が実施することとなった。</li> </ul>
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種畜検査、養蜂振興ともに、法に基づき事業を実施する。</li> <li>・家畜人工授精師講習会は、日程等の事前の周知を充実して受講者の確保を図る。</li> <li>・家畜共進会開催支援は、5年に一度開催される第14回全日本ホルスタイン共進会への参加を支援する。</li> </ul>